

## 第24回 個性づくりテーマ展示

# 少子化問題

展示期間 4月25日～6月25日

展示場所 南台図書館2階 展示コーナー

日本の総人口は、平成17年以降減少しています。そのことで問題になるのは、予想を上回る速さで少子化・高齢化が進行している事です。なぜそのようなことになっているのでしょうか。

今回は特に少子化に焦点を合わせて、「なぜ生まれてくる子供の数が減っているのか」、「今後も減少し続けたらその場合はどうなるのか」、「国は子どもや子育てのためにどんな応援をしているのか」などについて考えてみたいと思います。

中野区立南台図書館

03-3380-2661

NAKANO CITY CERTIFIED TOURISM RESOURCES



中野区認定観光資源  
2014

# 少子化の原因と背景

日本の少子化問題は、第二次ベビーブーム（1947年～1949年）後、未だに効果的な対策を打てずにいます。

出生数はゆっくりと減っていき、2005年には106万2530人と、戦後最も少ない記録を作っていました。

2005年、日本は1899年に人口動態の統計を取り始めて以来、初めて出生率が死亡率を下回り、合計特殊出生率は1.26と、過去最低を記録しました。

出生数の年次推移



出典：内閣府ホームページ

**では、この少子化問題の原因とは、どのようなことが挙げられるのでしょうか？**

## ◎結婚する人が減っている

2005年の調査では、25～39歳の未婚率は男女ともに増えています。

また、生涯未婚率を30年前と比べると、未婚率と同じように男女ともに増えています。

## ◎働く女性が増えたことによる晩婚化

仕事をしながら子育てをするための十分な環境が整っていないため、女性の晩婚化が進み、少子化の原因となっているとも言われています。外国では少子化を防ぐために、いろいろな対策をするようになったため、子供を産んで育てながらでも仕事を続けられるように、国や地方が手助けする例があります。その結果、スウェーデンやフランスは2000年代になって以来、合計特殊出生率が2.0ぐらいに回復しています。

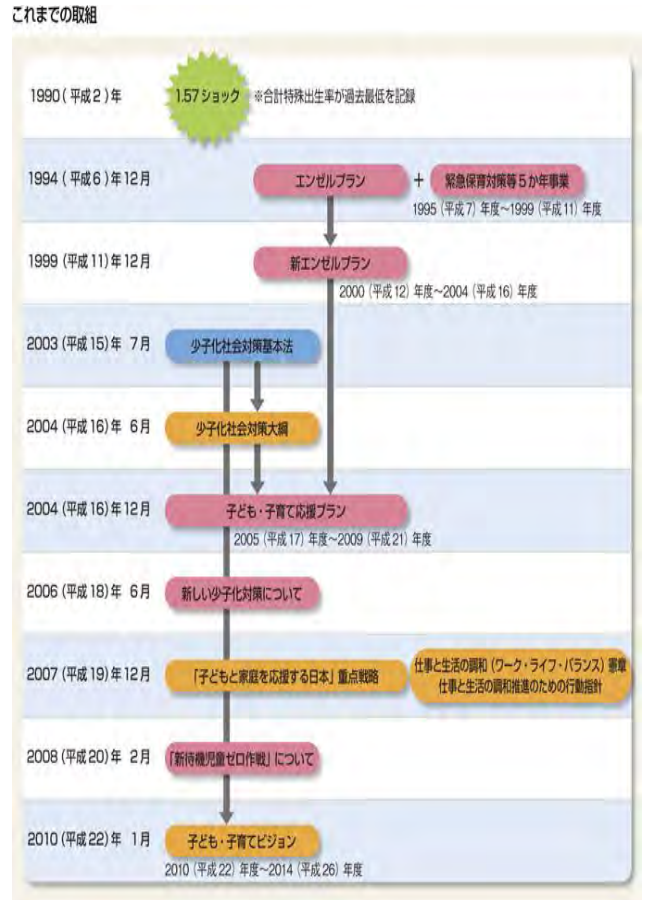
# 人口が減ったらどうなるの？

人口が減ると、経済面で大きな影響が出ます。労働人口が減るため、生産性が落ち、人口が減るので消費も減ります。現在のような経済や社会の成長を続けることが困難となってしまいます。労働人口を減らさないためにも、多くの人が働くことのできる仕組みや環境が必要となります。若者、女性、高齢者、障害を持った方など、多くの方が今より更に働けるようになれば、将来的にも多くの人が働く社会になります。

また、日本では働く女性が増えています。女性が子供を産んだ後も、それまでと同じように仕事を続けることは大変です。出産前にしていた仕事を、子供を産む時に辞める女性は、全体の約6割もいます。

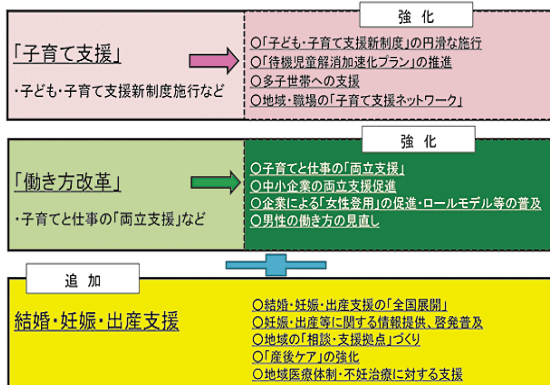
# 少子化問題への対策

子供を産んで育てやすい環境づくりや、仕事と家庭を両立出来る社会を作り上げていくため、日本では、1994年につくったエンゼルプランから、2010年につくった「子ども・子育てビジョン」まで、これまで様々な取り組みを行ってきました。例えば、「エンゼルプラン」と「新エンゼルプラン」を進めた10年間では、保育所の数を増やしたり、保育の時間を長くするなど、保育サービスをよくするための取り組みをしてきました。また、2004年につくられた「子ども・子育て応援プラン」では、仕事と家庭を両立できるよう働き方を見直すことを、そして2010年につくられた「子ども・子育てビジョン」では、子育てをする人達の立場で、子供を産んで育てるとい希望がかなえられる社会となるための、具体的な取組みを進めることを目指すとしています。



出典：内閣府ホームページ

## 「少子化危機突破のための緊急対策」の柱—「3本の矢」で推進



※ 平成25年6月7日 少子化社会対策会議決定

出典：内閣府資料

平成25年6月7日、内閣総理大臣を会長とし、第13回となる少子化社会対策会議が開催されました。そこで、「少子化危機突破のための緊急対策」を決定し、これまで少子化対策として取り組んできた「**子育て支援**」及び「**働き方改革**」をより一層強化するとともに、「**結婚・妊娠・出産支援**」を新たな対策の柱として打ち出すことにより、これらを「**3本の矢**」として推進することとされました。これにより、結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」の総合的な政策の充実・強化を目指すこととなりました。

内閣府：「少子化社会対策白書」より



## 展示資料の紹介



『社会環境の充実こそが少子化対策の鍵』

熊谷 きわ（著）

三冬社 364.1 ク

高齢化の進展と並び、少子化問題への対策が様々なところで指摘されています。子どもの数が減っている原因、少子化問題を克服しない場合はどのような経済への影響が出るのか、国民生活への影響、地域社会への影響、子どもの教育への影響、それらを包括的に見た上での国力への影響など、その論点も様々です。本書では、改めて少子化の現状や背景、これまで政府により講じられてきた施策を概観するとともに、どのような形で更なる一步を踏み出すかについてなどを分かりやすく説明しています。



『少子化論』

松田 茂樹（著）

勁草書房 334.3 マ

日本で少子化対策が開始されてから約 20 年が経ちます。しかし、出生率は回復に至っておらず、少子化対策を開始する前の水準にすら戻っていません。

本書では、これまでの出生率の変化、なぜ少子化が危機をもたらすか、少子化の背景要因ではないかといわれてきたことから、少子化対策の流れなど、少子化の現状と背景について分かりやすく説明しています。



# 少子化問題 図書リスト

書名	著者	出版社	出版年	請求記号
緊急提言!!少子過疎化対策	千枚田 明弘/著	パレード	2015	304 セ
人口減少と少子化対策	高橋 重郷/編著 大淵 寛/編著	原書房	2015	334.3 ジ
滅びゆく日本人	黒羽 栄司/著	たま出版	2015	304 ク
社会保障が経済を強くする	盛山 和夫/著	光文社	2015	364.0 セ
少子・高齢化と日本経済	安藤 潤 他/著	文真堂	2014	332.1 シ
人口回復	岩田 一致/編 日本経済研究センター/編	日本経済新聞 出版社	2014	334.3 ジ
フランスに学ぶ男女共同の子育てと少子化抑止政策	富士谷 あつこ/編著 伊藤 公雄/編著	明石書店	2014	364.1 フ
少子化社会対策白書 平成 26 年度版	内閣府/編集	日経印刷	2014	369.4 シ 14
子育て世代が住みたいと思う まちに	林 己知夫/著 高橋 睦子/著	第一法規	2014	369.4 ハ
「産む」と「働く」の教科書	齊藤 英和/著 白河 桃子/著	講談社	2014	367.2 サ
少子化時代の「良妻賢母」	S.D.ハロウェイ/著	新曜社	2014	367.3 ハ
少子化時代の家族変容	阿藤 誠 他/編	東京大学出版会	2011	361.6 シ
「子ども手当」と少子化対策	江口 隆裕/著	法律文化社	2011	334.3 エ

リストに載っていない資料もありますので、棚をご覧ください

# 少子化問題について調べてみよう

少子化問題についてより知識を深めたい方のために、ここでは、少子化問題についての資料・情報の調べ方を紹介します。

## 1. 情報検索のキーワード

少子化問題について調べる際に、幾つかのキーワードがあります。これらを使うことで、より効率的な調べ方ができます。

少子化問題／少子化対策／人口減少／子育て支援／少子高齢社会  
人口問題／人口対策／社会保障／児童福祉／出生率／世代間格差



## 2. 基本的な情報を調べる

### イ. 用語・データを調べる

資料情報	請求記号	所蔵館
世界大百科事典 平凡社 2007年(便覧のみ 2009年)	031 セ 34	南台図書館
現代用語の基礎知識 2015 自由国民社 2015年	R031 ゲ 15(中央) 031 ゲ 15(本町)	中央、本町図書館 (館内閲覧のみ)
保育用語辞典 第4版 ミネルヴァ書房 2008年	376.1	南台図書館

### ロ. テーマの棚を調べる

分類記号	分野	分類記号	分野	分類記号	分野
334.3	人口問題	364	社会保障	369.4	児童福祉

### ハ. 少子化問題に関する図書を調べる

資料情報	請求記号	所蔵館
社会保障が経済を強くする 少子高齢社会の成長戦略 盛山 和夫／著 光文社	364.0 セ	南台図書館
人口回復 岩田 一致、日本経済研究センター／編 日本経済新聞出版社	334.3 ジ	南台図書館
少子化時代の「良妻賢母」 S. D. ハロウェイ／著 新曜社	367.3 ハ	南台図書館

★中野区立図書館の資料を探す

- ・ 図書館内の利用者開放端末（OPAC）
- ・ 中野区立図書館ホームページの蔵書検索を使って調べる

→<https://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/index.asp>

★東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す

⇒東京都立図書館ホームページから入ります→<http://www.library.metro.tokyo.jp/>

二. 雑誌・新聞を探す

原紙（朝日・毎日・読売・産経・東京・日経）→南台図書館1階新聞コーナーにあります。

毎日新聞縮刷版→南台図書館1階カウンター横にあります。

3. 関連機関のご案内

● 内閣府

〒100-8914 東京都千代田区永田町 1-6-1 TEL：03-5253-2111（大代表）

【少子化対策】

→<http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/index.html>

● 厚生労働省

〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 第5号館 TEL：03-5253-1111

【少子化対策】

→<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/seisaku/syoushika/>

● 総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町 19 番 1 号 TEL：03-5273-2020（代表）

【人口推計】

→<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/index.htm>

● 首相官邸

内閣官房内閣広報室

〒100-8968 東京都千代田区永田町 1-6-1 TEL：03-3581-0101（代表）

【少子化社会対策会議】

→[http://www.kantei.go.jp/jp/96\\_abe/actions/201306/07sst\\_kaigi.html](http://www.kantei.go.jp/jp/96_abe/actions/201306/07sst_kaigi.html)



☆中野区公式 HP から確認できます

→<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/>

中野区立南台図書館  
2015年4月25日作成

# 南台図書館からのお知らせ

## 「子ども読書の日」子ども会



4月23日の「子ども読書の日」にちなんで、児童向けの行事を行います。

絵本の読み聞かせと、工作：（かみぶくろの人形作り）をします。

作った人形を動かして、遊んでみましょう。

日時：2015年5月2日（土） 15時～16時

会場：南台図書館 2階 おはなしのへや

対象：小学校低学年位まで

定員：20名

申込：不要。直接会場までお越しください。

